

令和 2 年度 第 2 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	令和 2 年 8 月 7 日 (金)	14:00~15:30
場 所	WEB 会議 / 議長	琉球大学医学部 管理棟 2 階 小会議室
構 成 員	30 名	(欠席者 7 名)
1 号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2 号委員	(県立中部病院長)	玉城 和光 (代理 吉田 幸生)
	(那覇市立病院長)	外間 浩
3 号委員	(県立宮古病院長)	本永 英治
	(県立八重山病院長)	篠崎 裕子
	(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
4 号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好
5 号委員	(沖縄県歯科医師会長)	真境名 勉 (欠席)
6 号委員	(沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌
7 号委員	(沖縄県看護協会会長)	仲座 明美 (欠席)
8 号委員	(沖縄県政策参与)	対象者なし (構成員外)
9 号委員	(沖縄県保健医療部長)	大城 玲子 (欠席)
10 号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11 号委員	(琉大がんセンター運営委員会委員長)	青木 陽一
12 号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生 (欠席)
13 号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳
14 号委員	(琉大看護部長)	大嶺 千代美
15 号委員	(琉大事務部長)	鬼村 博幸
16 号委員	(県立中部病院副病院長)	照屋 洋子
	(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇
	(那覇市立病院外科統括科部長)	宮里 浩
	(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
	(県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
	(県立宮古病院副院長)	中山 幸子
17 号委員	(県立八重山病院外科部長)	尾崎 信弘
	(県立八重山病院副院長)	平良 美江
	(北部地区医師会病院副院長)	柴山 順子 (欠席)
	(北部地区医師会病院看護部長)	我如古 春美
18 号委員	(沖縄県がん患者会連合会事務局長)	安里 香代子
	(ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
	(サバイバーナースの会「ピアナース」代表)	上原 弘美
	(パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト)	島袋 百代
19 号委員	(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
	(一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介 (欠席)
	(琉球新報編集局次長・報道本部長)	島 洋子 (欠席)
20 号委員	(琉大病院病理部長)	加留部 謙之輔
	(琉大病院小児科講師)	百名 伸之
	(那覇市立病院放射線科部長)	足立 源樹
陪 席 者	緩和ケア・在宅医療部会	笹良 剛史
	沖縄県教育庁保健体育課長	太田 守克
	琉球大学病院がんセンター	伊佐 奈々

(以下、Zoom 傍聴申込)

沖縄タイム社

ハートライフ病院

一般・がん患者ご家族 (個人名 割愛)

会議に先立ち、大屋委員長から、WEBから資料をダウンロードすることができなくなっていることから、ZOOM画面で資料を展開する埴岡委員による有識者報告を先に行っていただきたい旨の依頼を受け、埴岡委員による有識者報告から行うこととなった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(19号委員)から、沖縄県ががん対策をロジックモデルと評価指標を用いてPDCAを検証することを踏まえ、資料6に基づき、「沖縄県がん対策関連データアップデート」が示され、以下の項目について報告があった。

1. 大腸がん関連データアップデート
2. 罹患率(子宮頸がん、乳がん、白血病)
3. 拠点病院カバー率(肺がん、乳がん)
- その他

報告後、埴岡委員から、本協議会の担う役割として、県のがん対策等の運営方針を踏まえたデータや情報収集を行い、定点観測することで、データや資料に基づく意見交換等や評価を行い、がん対策の改善に活用するための仕組みづくりを行うことも求められているのではないかと発言があった。

また、埴岡委員の報告について、以下の通り質疑応答があった。

Q①沖縄県の大腸がんへの診療体制は全国的にどう評価されるか？安里委員(4号委員)

A①診療体制は方法であり、結果として沖縄県の大腸がんの死亡率が全国的には高めであることが問題である。しかし、体制による影響が不明だが、死亡率が高めであることから、診療体制が悪いとみなされる場合もある。

Q②奈良県の手術成績が具体的な数値となっているが、全国的にこのような数値は発表されているか？安里委員(4号委員)

A②情報開示は奈良県、次いで沖縄県が先進例という認識である。

Q③他県で罹患率の改善策として有効だった取組等をご教示いただきたい。真栄里委員(18号委員)

A③罹患率は、まだ安定したデータでないので、正確でない場合がある。重要なポイントとして、罹患率が高いにも関わらず、死亡率が高くない滋賀県や奈良県の対策に注目することも有効な手段になることも考えられる。

その他、埴岡委員から、沖縄県へがん医療施設を選定し掲載する取り組みの進捗状況について質問があり、沖縄県健康長寿課仲里氏(オブザーバー参加)から、取りまとめ中である旨の回答があった。

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 令和2年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(7月13日開催)

増田委員から、資料1の第2回幹事会議事要旨(令和2年7月13日開催)の確認があった。

2. 令和2年度第1回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(5月8日開催)

増田委員から、資料2の第2回協議会議事要旨(令和2年5月8日開催)の確認があった。

3. 令和元年度1回沖縄県がん診療連携協議会議事録(5月8日開催)

増田委員から、資料3の第2回協議会議事録(令和2年5月8日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会委員一覧

増田委員から、資料4に基づき、部会委員の一部に変更について報告があった。

5. 令和2年度の協議会・幹事会の開催日時について

増田委員から資料5に基づき、令和2年度の協議会・幹事会の開催日時について確認があった。

審議事項

1. がんゲノム医療について

増田委員から資料7-1～7に基づき、がんゲノム医療について進捗及びがんゲノム外来の具体的な紹介方法等の説明があった。

また、増田委員の説明を受け、以下の通り質疑応答があった。

Q①生命予後3か月間は誰の判断か？安里委員(18号委員)

A①紹介元の主治医の判断による。

Q②患者自身での申込は可能か？安里委員(18号委員)

A②紹介元の主治医に患者が希望を伝え、主治医から紹介を行う流れとなる。主治医に相談することが難しい場合、拠点病院の場合はそれぞれの病院の相談支援センターに相談するか、琉大のがん相談支援センターで相談を受ける等の支援は可能である。

Q③病理検体は返却予定か？吉田委員代理(2号委員)

A③現状として、返却予定はない。

2. がん患者さんの生殖機能温存について

増田委員から資料8に基づき、がん患者さんの生殖機能温存について進捗状況等の報告があった。また、安里委員(18号委員)から、高額治療となることから補助金等活用できないかとの質問があり、増田委員から、現状として既婚者は自治体から不妊治療の補助を受けられる場合があるが、独身の場合は全て自費となるとの回答があった。

3. その他

埴岡委員から、毎協議会の審議事項として、データと施策を繋げた沖縄県のがん対策進捗状況を確認してはどうかとの提案があり、大屋議長から、県と調整し進めたいとの回答があった。

報告事項

1. 第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について

沖縄県健康長寿課仲里氏から、第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について、進捗状況等の報告があった。

2. 沖縄県におけるがん対策費について

沖縄県健康長寿課仲里氏から資料9に基づき、沖縄県におけるがん対策費について、名称変更はあるものの概ね例年通りの予算措置となっているとの報告があった。

また、埴岡委員から予算掲載方法について、島根県庁ホームページが参考となる旨の紹介があった。

3. 患者会よりの報告

安里委員報告

安里委員(18号委員)から資料10-1に基づき、第8回離島がんフォーラムin宮古について報告があった。また、沖縄県がん患者連合会でアンケート調査を予定しており、その中で専門看護師の認知度等について調査・集計したいとの発言があった。

島袋委員報告

島袋委員から資料10-2に基づき、令和2年6月27日開催したNPOパンキャンジャパン沖縄支部の患者会(サロン)について報告があった。また、新型コロナウイルス感染防止を配慮しつつで対面での患者会開催を実施する方法が課題であるの発言があった。

真栄里委員報告

真栄里委員から資料10-3に基づき、若年がん患者在宅支援について報告があった。若年がん患者在宅支援について県内自治体へ陳情書を提出した結果について、新たに1つの自治体（南城市）が採択したとの報告があった。また、県議会でも採択されたことから、各市町村でも良い流れとなることを期待している旨の報告があった。

その他、安里委員（18号委員）から、県内の若年（40歳以下）のがん患者数について質問があり、増田委員から県全体で年間9600～9700人のがん患者があり、その内500人強が40歳以下であるとの回答があった。

4. がん教育について

沖縄県教育庁保健体育課長太田氏から資料11に基づき、がん教育の進捗状況について報告があった。

5. 沖縄県院内がん登録報告書2018年症例について

琉球大学病院がんセンター伊佐氏から資料12に基づき、沖縄県院内がん登録報告書2018年症例について報告があった。また、伊佐氏から、今後乳腺専用クリニックへ働きかけを行い、乳がんのカバー率を向上させ多くの立場の方に活用いただけるデータを構築していきたいとの発言を受け、埴岡委員からデータを合わせることでより良い資料となるだろうとの回答があった。

6. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

増田委員から資料13に基づき、沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について報告があった。

7. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

増田委員から資料14に基づき、沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について報告があった。

8. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員から資料15に基づき、沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について報告があった。

9. その他

部会報告事項

1. 医療部会

報告なし

2. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良部会長から資料17に基づき、緩和ケア・在宅医療部会の活動・取り組み状況について報告があった。

3. 小児・AYA部会

百名委員から資料18に基づき、小児・AYA部会の活動・取り組み状況について報告があった。

4. 離島・へき地部会

尾崎委員から資料19に基づき、離島・へき地部会の活動・取り組み状況について報告があった。

5. 情報提供・相談支援部会

報告なし

6. ベンチマーク部会

報告なし

以上